

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	柿生学園	評価対象年度	令和4年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	生活介護・施設入所（定員60名）契約者数 59名（令和5年3月31日現在） 短期入所（定員 4名）延利用者数116名 日中一時（1日 5名）延利用者数319名																										
収支実績	<table border="1"> <tr> <th>収入</th> <th>支出</th> <th>収支差額</th> </tr> <tr> <td>指定管理料 33,682千円</td> <td>人件費 318,508千円</td> <td>74,506千円</td> </tr> <tr> <td>給付費収入 479,255千円</td> <td>事務費 69,180千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用料 33,955千円</td> <td>事業費 74,737千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>就労支援事業収 2,596千円</td> <td>事務局経費 14,474千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 6,563千円</td> <td>就労支援事業支出 2,754千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他 1,892千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 556,051千円</td> <td>合計 481,545千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入	支出	収支差額	指定管理料 33,682千円	人件費 318,508千円	74,506千円	給付費収入 479,255千円	事務費 69,180千円		利用料 33,955千円	事業費 74,737千円		就労支援事業収 2,596千円	事務局経費 14,474千円		その他 6,563千円	就労支援事業支出 2,754千円			その他 1,892千円		合計 556,051千円	合計 481,545千円			
収入	支出	収支差額																									
指定管理料 33,682千円	人件費 318,508千円	74,506千円																									
給付費収入 479,255千円	事務費 69,180千円																										
利用料 33,955千円	事業費 74,737千円																										
就労支援事業収 2,596千円	事務局経費 14,474千円																										
その他 6,563千円	就労支援事業支出 2,754千円																										
	その他 1,892千円																										
合計 556,051千円	合計 481,545千円																										
サービス向上の取組	<p>・自治会である「利用者の会」を定期的に開催し、利用者の食や余暇への要望を確認できるよう取り組んだ。</p> <p>・年1回満足度調査を行うことで利用者からの外出などの希望を確認し、感染症対策などを実施しながらドライブ外出などを行うなど利用者の意見、要望に応えられるよう取り組んだ。</p>																										

3. 評価 （評価段階：5～1標準：3.加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思決定を尊重した支援を心掛け、作業や余暇活動、行事献立などは画像で分かりやすく提示し、選択しやすい工夫を行った。 ・各生活寮で利用者一人ひとりのニーズや障害特性を考慮した支援を行った。コロナ禍の中、感染リスクを減らすためユニット間の交流は時間差や小規模で行い、ユニット単位での活動を中心することで感染拡大防止を図りつつも、楽しい雰囲気作りに努めた。 ・利用者の栄養管理では、健康や摂食機能に課題のある利用者について、主治医の指示と意見を定期的に確認して栄養ケアマネジメントや個別支援計画に反映させた。 					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会計処理や利用者預り金は、法人の経理規定に従って適切に処理し、現金実査は常に二人以上で確認を行い、また事務用品の活用で正確性と効率性を向上させ、今年度も差異や遺算は無く確実に処理した。 ・法人会計監査人の内部監査では、会計士のアドバイスを受けて処理手順の整理を行い、正確で適切な会計処理をした。 					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画はサービス管理責任者が利用者・家族へ説明し、同意・承認を受けてサービス提供を実施し、ケア会議では将来目標を見据えた支援内容の具体化や必要事項の周知等を行うことで、適切な支援につなげた。 ・ヒヤリハットや事故について、データベース化して各寮に検証、対策の報告を義務付け、事故の多い時間帯や場所、危険を感じる現場については、具体的な対応を行ったことで、例年より事故が減少した。 ・例年実施している利用者会（自治会）をコロナの集団感染の影響から大規模な形での実施ができなかったが、アンケートを実施することで利用者の意見や要望に対応できるよう取り組んだ。 					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度、新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生する事態となったが、医療機関・行政の連携と職員の協力体制を迅速に組んだことで、重篤化することなく収束させることができた。 行動障害等の基礎知識を身に付ける研修に積極的に参加し、利用者が安全で安心した生活が送れるよう専門性の向上に努めた。また、多くの職員が視聴できるよう身体拘束や感染症に関する研修はDVD研修を行い、職員の質の向上に取り組んだ。 運営に必要な帳票や書類の変更については、自己点検シートを活用し定期的に確認し、見落としや不手際の無いよう配慮して運営に取り組んだ。 毎月開催する衛生委員会では産業医同席のもと、職員の健康状態や職場環境改善のアドバイスをし、健康相談やメンタルヘルスを希望する職員には産業医や保健師との相談面接が出来るよう調整し、よりよい労働環境の整備を行った。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内で感染者が出た際の消毒清掃は、看護師の指示のもと、職員・清掃員が協力して衛生面に十分配慮して行った。 必要な衛生用品や日用品は不足することの無いように適切に管理・補充を行っている。 				

4. その他加算

分類	項目	着眼点	評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか	0
	(評価の理由)		

5. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計：100点満点,標準点:60点

評価ランク：A～E,標準：C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生する事態となったが、医療機関・行政の連携と職員の協力体制を迅速に組んだことで、利用者も職員も重篤化することなく収束させた。
 ・利用者それぞれの状態にあった生活場所や、希望に沿った生活への移行にも取り組み、グループホームへ1名、特養へ3名、療養型病院へ1名の移行を行った。
 ・セルフチェックシートの集計や分析結果を活用し、権利擁護や虐待防止等の各種委員会で職員や第三者、家族、学識者等の様々な視点で検討し、支援現場や運営改善に反映させた。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き個々の利用者のニーズに応じた支援を行うとともに、施設の適正な運営管理に努めること。